

令和7年度 子ども大学にいざ

1. 実施体制

子ども大学にいざ	学長	安達 一寿（十文字学園女子大学学長）
	副学長	-
子ども大学にいざ実行委員会	実行委員長	星野 敦子（十文字学園女子大学社会連携・研究担当副学長）
	実行委員 (関係団体)	新座市ボランティア団体雑木の会代表、十文字学園女子大学、新座市教育委員会
	問合せ先	新座市教育委員会生涯学習スポーツ課 電話：048-477-1498 FAX：048-458-0791 e-mail：syougaku@city.niiza.lg.jp

2. 事業内容

開催回数	2回	開催期間	令和7年7月30日～令和7年7月31日			
参加者数	40名	内訳	小学4年生	14名		
			小学5年生	14名		
			小学6年生	12名		

3. 実施内容

1日目	開催日時	7月30日（水） 9：30～正午	
ふはるてさなと学・	会場	十文字学園女子大学	
	講義名	なぜまわる？くるくるトンボを作つて回してみよう	
	講師	雑木林維持管理ボランティアグループ雑木の会 島田 保先生、石谷 尹利先生、山本 茂先生	切り出しナイフで竹を削つてくるくるトンボを作つてゐる様子
2日目	開催日時	7月31日（木） 9：15～正午	
はてな学	会場	十文字学園女子大学	
	講義名	自分だけのイニシャルキーホルダーをつくろう！	
	講師	日本大学生産工学部創生デザイン学科 中澤 公伯先生、木下 哲人先生、早川 健太郎先生、宮原 俊介先生	様々な色や形のパツを組み合わせてキーホルダーを製作

4. 参加者の声

参加した子供の声（感想）	<ul style="list-style-type: none">・くるくるトンボを作るときに使った切り出しナイフが3000年前から使われていることを初めて知って、驚きました。・心に残ったことは、イニシャルキーholderを作るときに、スタッフさんが自分のものをほめてくれたり、やさしく教えてくれたりして、自分が「上手にできたな」と満足できるイニシャルキーholderを作れたことです。・「子ども大学にいざ」に来て、色々な体験をすることができた楽しかったです！・1日目と2日目、どちらも楽しかったです。2日とも、自分だけの物を作れて楽しかったし、嬉しかったです！！・はじめて分かったことは、日常がいろいろな機械でつくられていることや、昔の技術が今も使われていることです。心に残ったことは、切り出しナイフが楽しかった思い出とイニシャルキーholderでKのネジをとめるのが難しかったことです。
保護者の声（感想）	<ul style="list-style-type: none">・スタッフさんにたくさん褒めていただいた事で、子ども本人の自己肯定感がとても上がっていて、参加させて本当に良かったと感じました。・大学という、小学校とは違った環境で学んだ事も、とても楽しそうでした。・家庭や学校ではなかなか出来ない経験をさせてくださいありがとうございます。夏休みの思い出になりました。・子どもだけの参加ですが、丁寧に見てくださるので安心して参加させることができました。・4年生から幸運にも毎年参加させていただきました。毎年違ったテーマに新しい発見や体験ができ楽しく学習することができたようです。また実際の大学生にサポートしていただきながら交流できたことで大学生への憧れも生まれたようです。